

## 目標達成計画

作成日: 平成 30 年 4 月 30 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	<b>4:運営推進会議を活かした取り組み</b> 地域の方の参加や家族の参加ができていない。市や包括職員の参加は出来ているが、取り組み報告に対しての報告に対しての感想のみで終わってしまう現状である。	運営推進会議のあり方を見直し、地域の理解と支援の促進ができる。	①運営推進会議の開催場所や議題の工夫 ②自分たちから地域の会議へ出向いて意見を伺う ③他事業所の運営推進会議に参加する ④関係機関への協力依頼	12ヶ月
2	30	<b>30:看護職との協働</b> 介護職が普段と違う状態を適切に言葉にして捉え、看護師や医療関係者へ適切に伝えきれていないことがあり、介護職員の看護医療知識を向上させる必要がある。	早い段階で状態変化や異常に気付き、適切な初期対応および医療との連携ができる。	①一人ひとりの既往歴、現病歴、内服を再確認し、健康管理のポイントを再学習する ②体調不良時に対しての初期対応を見につける ③緊急時に対しての対応を身につける	12ヶ月
3	35	<b>35:災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を職員が身につける必要がある。	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を職員が身につけることができる。	①各種災害に備えたマニュアルの策定 ②災害を想定した実践訓練 ③災害に備えた備品等の準備	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。